

# 武蔵の里再整備 報告書

令和4年12月8日

美作市武蔵の里再整備検討委員会

# 目次

## はじめに

- ▶ 第1章 宮本武蔵生誕地について
- ▶ 第2章 武蔵の里整備の履歴
- ▶ 第3章 観光施設等の過去の状況
- ▶ 第4章 宮本武蔵生誕地の現状
- ▶ 第5章 委員会開催及び先進地研究
- ▶ 第6章 生誕地の観光コンテンツ
- ▶ 第7章 提言

## おわりに

- ▶ 開催履歴
- ▶ 委員名簿

# 第1章

## 宮本武蔵生誕地について

# 宮本武蔵と大原地区 その1

剣豪宮本武蔵と大原地区の関係については、生誕地として観光展開を行って来たが、改めてその点について、述べることにする。

世間では、生誕地と言われているところ（説）が2か所ある。播磨（兵庫県南部）と美作である。播磨の言われは、五輪書の冒頭に「生国播磨の武士」と明記されていることからである。では、美作の説は何故存在するのかであるが、書物に書き記されている歴史からとらえる。

美作説の初期の資料は元禄2年（1689）の日付を有する吉野郡古事帳の2文書、【宮本村古事帳写（白岩家文書）】と【下庄村古事帳写（平尾家文書）】である。この文献では、当地にはこんな伝説があると報告した文書である。その後、美作説の根拠とされている【東作誌】が文化12年（1815）に書き上げられ、美作説が提唱され、熊本の宮本武蔵遺蹟顕彰会編『宮本武蔵』の明治42年（1909）においても美作説が提唱された。程なくして地元武蔵の里では、大正元年（1912）武蔵生家跡に「宮本武蔵生誕地」の記念碑が地元有志発起により建てられる。題字は旧熊本藩主細川護成侯爵の染筆によるものである。

ここまででは、広く美作が生誕地と認識されていたかは定かではないが、その後美作が生誕地であると広く認識されることになった理由を述べることにする。

## 宮本武蔵と大原地区 その2

播磨説、美作説の2説の情勢が変わる。吉川英治の小説「宮本武蔵」の新聞連載（1935～39）が始まり大評判となる。その後戦時中から今日に至るまで、芝居、ラジオ、テレビ、映画など繰り返し取り上げられ、広く知られることとなり、現実の武蔵像となっていく。吉川英治は、熊本の宮本武蔵遺蹟顕彰会編「宮本武蔵」の説に従って美作の生まれとし、江戸時代の武蔵の伝記や逸話をさまざまに取り入れながら、創作が相当まじった小説宮本武蔵を書き上げたものであるが、このことから武蔵生誕地が美作であると世間に広く認識されるようになったのである。

大原には、武蔵生誕地の巡礼として多くの人々が訪れ始め、必然的に武蔵ブランドにあやかり、観光地展開を繰り広げることになる。

ちなみに、時代小説を原作とした映画がヒットしている状況からも「時代物」に根強い人気があることは間違いない。この「時代物」への熱は、そのまま過去の文化や偉人たちへの「憧れ」である。ファンは「時代物」に登場する剣豪や武士たちの人間臭さに共感し、同時に凡人では手の届かない彼らの非凡さに憧れ、胸を熱くさせられるのである。

他にも「時代物」の小説は多数あるが、その中でも吉川英治著作の「宮本武蔵」は世間に偉人の人物像を定着させたパイオニアと言われている。したがって、吉川英治の「宮本武蔵」は現在ある宮本武蔵関連の作品のベースを築いたものとなっている。

## 第2章 武蔵の里整備の履歴

# 武蔵の里整備の履歴 その1

武蔵の里は、剣豪宮本武蔵生誕の地として、大原町時より観光振興の要として展開してきたものである。施設としては、昭和34年の宮本武蔵宅跡の県指定史跡認定から始まり、その後、施設整備を行って来たが、その履歴を確認する。

昭和43年 武蔵道場 落成

地元の青少年の剣道練習、兵法二天一流や空手の稽古、合宿に利用されている。

平成元年 武蔵の里研修センター 落成（五輪坊・武蔵資料館）（令和3年休館）

観光客やスポーツ合宿の宿泊及び研修施設として設置、ツアー客の食事処でもあった。

武蔵資料館では、武蔵自筆の「達磨頂相図」や武蔵ゆかりの書画・刀剣・鎧などを多く展示。

平成6年 智頭急行宮本武蔵駅 落成

全国でも珍しい人名の駅 約2メートルの宮本武蔵の肖像画、幼少期の武蔵・お通・又八の銅像あり。

平成6年 武蔵の里交流館 落成（令和3年休館）

スポーツ・文化・歴史・芸術など多彩にわたる交流を促進する拠点施設。宿泊部屋、茶室を備える。

平成7年 宮本武蔵像 建立

高さ5.6メートルの若き日の武蔵像 武蔵の里のシンボリックな銅像であり、観光客が記念写真を撮影するスポット。

# 武蔵の里整備の履歴 その2

平成7年 武蔵の里に温泉湧出 【宮本武蔵温泉】

温泉は、五輪坊やクアガーデン武蔵の里にて使用される。

平成9年 楽市楽座 落成 （令和3年休館）

観光客のための施設として設置。特産品や新鮮な野菜の販売と観光案内を兼ねた施設。

平成9年 クアガーデン武蔵の里 落成 （平成28年10月閉鎖）

温泉に浸かって温水プールとグルメでレジャーを満喫する施設として設置。

平成12年 宮本武蔵顕彰武蔵武道館 落成

スポーツ交流の拠点として設置。

平成19年 つつじ園 開園

約2,100本のつつじが植えられている。

○その他、武蔵の里には、武蔵にまつわる観光スポットが点在する。

○生家跡、平尾家、武蔵神社、武蔵の墓石などがある。



# 第3章 観光施設等の過去の状況

# 観光施設等の過去の状況 その1

武蔵の里に整備した市有観光施設・体育施設の利用状況を確認する。

○観光施設 利用者数

単位：人

施設名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
クアガーデン全体	78,539	110,210	103,765	91,174	64,201	67,283	69,588
資料館	18,658	19,835	14,822	13,536	10,679	10,985	9,342
宿泊（五輪坊+交流館）	7,680	8,702	8,088	6,794	6,484	6,232	5,846
食事	18,598	19,468	19,631	15,585	15,112	14,631	15,467
楽市楽座	18,273	22,402	24,221	23,996	21,347	19,293	17,434
クアプール	12,766	13,273	13,336	9,103	14,984	7,434	8,143

H28. 10月クアガーデン閉鎖

施設名	H25	H26	H27	H28
クアガーデン全体	56,442	43,029	40,908	21,890
資料館	10,088	8,142	8,285	6,678
宿泊（五輪坊+交流館）	6,042	6,241	6,084	5,551
食事	22,724	16,653	14,958	13,339
楽市楽座	14,767	13,721	15,822	12,135
クアプール	7,499	6,322	6,420	5,838

指定管理者による運営

施設名	H29	H30	R01	R02
資料館	6,024	4,630	5,078	2,063
宿泊（五輪坊+交流館）	4,360	4,235	4,951	2,245
食事	14,742	14,830	13,912	5,113
楽市楽座	11,025	8,335	7,582	3,921

# 観光施設等の過去の状況 その2

○観光施設 売上高

単位：千円

施設名	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
宿泊（五輪坊交流館）	18,347	16,429	15,289	13,641	12,852	13,334	11,944
五輪坊食事	54,983	49,641	45,536	43,346	40,411	44,833	47,234
武蔵資料館	8,720	6,634	6,106	4,921	4,960	4,230	4,320
楽市楽座販売収入	20,915	25,536	26,207	23,898	23,024	23,567	22,057
クアガーデン食事	25,985	24,116	20,726	17,709	16,177	14,573	3,804
クアガーデン温泉	21,311	21,064	16,647	14,725	14,038	14,083	15,011

施設名	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
宿泊（五輪坊交流館）	20,121	19,336	19,727	15,344	12,826	15,776	7,528
五輪坊食事	48,113	41,879	37,822	31,340	33,010	32,577	10,306
武蔵資料館	3,268	3,366	2,963	2,761	2,133	2,299	914
楽市楽座販売収入	21,668	21,503	17,406	12,655	11,693	10,021	3,669
クアガーデン食事	2,472	2,334	1,333				
クアガーデン温泉	13,170	11,993	5,444				

※宿泊、食事、資料館の減少が確認出来る。

# 観光施設等の過去の状況 その3

○武蔵の里特別会計 一般会計繰出金額及び指定管理料 単位：千円

項 目	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
繰 出 金	82,138	77,822	121,654	83,659	78,393	89,443	61,934

H28. 10月クアガーデン閉鎖

項 目	H25	H26	H27	H28
繰 出 金	54,549	60,021	79,325	65,136

指定管理者 共立メンテナンスによる運営

施 設 名	H29	H30	R01	R02
指定管理料	33,064	33,064	33,369	33,677

※クアガーデン武蔵の里の閉鎖により、減額しているが、年間3千万円以上の運営費補填が発生していた。

# 観光施設等の過去の状況 その4

○体育施設 利用者数

単位：人

施設名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
武蔵武道館	17,925	22,516	19,925	16,301	19,030	23,109	16,869
武蔵道場	1,819	1,715	1,524	2,361	2,650	1,638	1,971
ゲートボール場	3,663	3,230	1,621	1,929	2,028	2,440	1,191
グラウンドゴルフ場							

施設名	H28	H29	H30	R01	R02	R03
武蔵武道館	27,241	22,149	21,624	22,043	3,757	5,986
武蔵道場	681	616	424	1,201	1,206	498
ゲートボール場	1,585	1,440	562	913	696	485
グラウンドゴルフ場					6,888	7,112

# 第4章

## 宮本武蔵生誕地の現状

# 剣豪宮本武蔵生誕地の現状

武蔵の里は、剣豪宮本武蔵生誕の地として、大原町時より観光振興の要として展開してきたものである。市の関連する施設整備としては、昭和43年の武蔵道場落成から始まり、平成12年の宮本武蔵顕彰武蔵武道館完成まで続いた。

その後、平成15年のNHK大河ドラマ「武蔵 MUSASHI」放映時には、観光バスが訪れるなど観光客で賑わい。五輪坊等の宿泊客も多くいた。しかし、その後は徐々に観光客も減少し、それに伴い食事処や土産物店の閉店が相次ぎ、現在では数少ない店舗のみとなっている状況である。

また、市有施設においても、利用客減少による営業不振からクアガーデン武蔵の里が平成28年に閉鎖。同じく利用客減少による営業不振と設備の老朽化により五輪坊（武蔵資料館含む）や関連する武蔵の里交流館及び楽市楽座が令和3年から休館となっている。

現在における観光客については、賑わい時に訪れた方々が、再度訪れられているが、賑わい時の光景から様変わりした状況に落胆し帰られる方もいる状況である。しかしながら、武蔵は剣豪・芸術家としての面と自ら書き上げた五輪書においては、ビジネスバイブルやお金の増やし方など、多方面の書籍の基礎として用いられており、これは海外でも販売されていることから、外国人にて崇拝されている状況が存在する。このことから、コアな剣道家やビジネスマンが国内、国外から訪れている現状があり、今後のインバウンド観光の牽引が期待される。

また、生涯無敗の武蔵にあやかりたく、参拝者が勝ち守りを求めて多く訪れている。

# 第5章

## 委員会開催及び先進地研究



# 委員会開催履歴

- 第1回 開催日 令和2年10月21日（水）  
出席者 市長、委員8名、市役所9名  
内 容 委員会設立、会長・副会長選出
- 第2回 開催日 令和2年12月16日（水）  
出席者 委員8名、市役所7名  
内 容 再整備の方向性協議、先進地視察先検討
- 第3回 開催日 令和3年8月23日（月）  
出席者 委員9名、市役所8名  
内 容 役員改選、整備への意見聴取  
再整備の方向性協議
- 第4回 開催日 令和3年9月15日（水）  
出席者 委員10名、市役所7名  
内 容 案内看板等の確認

# 先進地研究 その1

武蔵の里再整備検討委員会では、宮本武蔵の里を再整備するにあたり、将来数十年を見据えどのように整備すれば、武蔵の里の活性化に繋がるかの参考とするため、再生事業に取り組んだ団体や宿泊施設、温浴施設を運営されている団体、特産物販売所や博物館など、先進地の事例を研究するため、令和3年度から令和4年度にかけて4回にわたり視察を行った。

第1回 実施日 令和3年12月23日（木） ※第5回検討委員会  
視察先 矢掛宿場町 （岡山県小田郡矢掛町）  
道の駅「びんご府中」（広島県府中市）  
参加者 委員4名 市役所5名



## 視察内容

DMO（観光地域づくり法人）の設立（町出資他）を行い、DMO主体による宿場町の古民家の再整備を行う。行政主導よりスピーディーに実施可能。宿場町全体の再生にて、食事処、宿泊施設（古民家型の分散型ホテル）、温浴施設など整備。

## 武蔵の里での参考事項

街全体でのコンセプトの必要性。ホテル形式より古民家再生による宿泊施設に可能性有り。DMO等の中心的な役割を担う継続性のある組織の必要性有り。

# 先進地研究 その2

第2回 実施日 令和4年6月30日（木） ※第6回検討委員会

視察先 りんりんパーク・湯の里小町温泉『しこくや』

（愛媛県西条市）

JAおちいまばり さいさいきて屋

（愛媛県今治市）

参加者 委員8名 わがザバー1名 市役所5名



## 視察内容

スポーツ合宿誘致を積極的に施策として実施している西条市において、温浴宿泊施設を運営している施設での合宿の受入れ状況や他の宿泊状況について調査を行う。合宿利用は夏・春休みが主であり年間宿泊の15%程度。高校生までは大部屋利用が主だが、大学生からは個室の希望が増。合宿での一泊一人当たりの料金は8,000円まで、その以上だと利用少ない。温泉は冷泉であり加温により利益を上げるのは難しい。

## 武蔵の里での参考事項

近年の旅行は団体から個人へとのこと。合宿においても個室の需要増。合宿は全体の15%により、合宿を主体としての形態は不可能。

# 先進地研究 その3

第3回 実施日 令和4年7月26日（火） ※第7回検討委員会  
視察先 丹波篠山の宿 集落丸山『NPO法人集落丸山』  
篠山城下町ホテル NIPPONIA  
丹波篠山市立歴史美術館 （兵庫県丹波篠山市）  
道の駅 2か所（兵庫県加東市、西脇市）  
参加者 委員6名 わがザバー1名 市役所6名



## 視察内容

丹波篠山の宿集落丸山は、里山地区の古民家改修による1棟貸しによる運営。改修は補助金やファンドによる資金捻出。改修前に運営計画、返済計画立案による実施。返済計画から宿泊単価設定、中間富裕層想定単価。城下町の古民家をリノベーションした分散型ホテルでは、篠山城下町ホテルNIPPONIAは、城下町全体をコンセプトに取り入れた運営。体験型観光を取り入れ。どちらも食事は重要アイテム。各種連携をディベロッパーが担当。事業の成功が人（事業者）を呼び込む。過大な事業計画では、成功無し。

## 武蔵の里での参考事項

むかしのくらしやストーリーが感じられる空間や時間の提供に価値有り。反面他では味わえない食事や体験の提供に魅力有り。行政主導では短命、継続的な取り組みを支援できる組織があって成功へ。地域全体を空間と捉えた戦略必要。

# 先進地研究 その4

第4回 実施日 令和4年9月22日（木） ※第8回検討委員会  
視察先 備前おさふね刀剣の里 備前長船刀剣博物館  
(岡山県瀬戸内市)  
道の駅 みつ (兵庫県たつの市)  
参加者 委員6名 木下さん1名 市役所7名



## 視察内容

国宝「山鳥毛」の特別展などにより来館者を伸ばしている刀剣博物館を視察。平日であったが、若い女性【刀剣女子】が多く訪れていた。この原点はゲームから始まりコスプレなどに関心を示すサブカルチャーによるもの。ブームは平成27年からだが、まだまだ衰える気配無し。さらに刀剣は海外でも注目、インバウンドの需要有り。刀剣のスピリチュアルな部分に需要があるのかもしれない。

## 武蔵の里での参考事項

日本はもとより世界でも宮本武蔵ブランドが通じる。インバウンドの需要にも対応した説明や表現が必要。武蔵を知らない人への映像コンテンツでの提供も必要では。また、武蔵をサブカルチャーとの融合した営業展開も有りではないか。スピリチュアルな部分での提供は、リピーターを呼ぶと考えるが。

# 第6章 生誕地の観光コンテンツ

# 生誕地の観光コンテンツ

観光コンテンツの造成としてのポイントは、次の4つの要素が必要と述べられる。

- A. その土地に根差したストーリー性やテーマ性を有している。
- B. 地元の人々とのふれあいや、地域資源を活用している。
- C. 日本らしいユニークさや非日常体験を提供している。
- D. 通常では利用出来ない希少性や限定感、独占的な体験を提供している。

ではここで、生誕地の現状として観光客への提供資源として不足していると考える観光コンテンツを述べる。

- ① 武蔵生家や武蔵神社など周遊できる基本的アイテムは存在するが、案内板や説明書プレートなどのさらなる充実。  
また、デジタル社会に対応したコンテンツ、外国人への案内。
- ② 家族連れで訪れた場合の子ども達に対応したコンテンツ。
- ③ インスタ映えする武蔵生誕地ブランドの提供箇所や素材。
- ④ 武蔵の里を周遊させるため、食事処や茶店の存在。
- ⑤ 生前の武蔵と同じ空気を吸っていると体感出来るような情緒感のあるスポット。
- ⑥ 地元での各種体験メニュー、または、ここでしか経験出来ない体験メニュー。
- ⑦ 武蔵を知らない人でも武蔵を学べる資料館。

# 第7章 提 言



# 提言 その1

本提言は、武蔵の里再整備検討委員会による協議及び、先進地視察を基に、武蔵の里だけでなく大原地区全体を計画区域と捉え、大原地域が一層個性と魅力にあふれる空間となるよう、その諸方策について取りまとめを行ったものである。

観光コンテンツの造成としてのポイントを重視しつつ、生誕地として今後再整備が必要と考える観光コンテンツ、及び施設について述べる。

## ●情報発信について

- ①デジタル社会に対応したWeb・モバイルコンテンツを含む、外国人への案内にも対応した説明やパンフレットの制作。
- ②生誕地をPRするため、目に見えるPRの展開。※武蔵ラッピングタクシーなど
- ③インスタ映えする武蔵生誕地ブランドの提供箇所や素材の制作。
- ④剣豪武蔵にちなんだイベントの開催。 ※二刀流、スポーツチャンバラ大会など

## ●周遊観光・滞在時間延伸について

- ①武蔵生家の開放など、滞在時間を延ばす取組み。
- ②地元で生まれ育つ子ども達にも喜ばれ、そして武蔵を郷土の誇りと認識できるコンテンツとして、昔ばなし【あばれたけぞう：宮本武蔵の少年物語】（平成8年大原町の「武蔵物語」制作委員会により制作、発行）のリメイクによる再販売。また、あばれたけぞうは、武蔵の里の石碑に表示され、番号をたどればストーリーが完結するようになっていることから、デジタルスタンプラリーなどでの活用。

※五輪書は13歳から話が始まっているので、大原町の方々の思いによる12歳までの少年期武蔵が「あばれたけぞう」にて表現されている。

## 提言 その2

- ③少年武蔵が●●した場所や剣術の鍛錬に励んだ場所など、生前の武蔵の空気感を体感出来るスポットの創設。
- ④武蔵の里、古町町並み保存地区、林家住宅などを含む、外国人も意識した観光ルートの作成。
- ⑤地元での各種体験メニュー、または、ここでしか経験出来ない体験メニューの作製。
- ⑥食事所や茶店の誘致。

### ●食事・宿泊・土産について

- ①特産品開発やここでしか食べられないといった食事メニューの開発。
- ②コアな武蔵ファンの為の宿泊施設の検討
- ③地元特産品・特産物やお土産の販売店舗の設置。

### ●組織、施設について

- ①継続的に武蔵の里をプロデュースする、観光組織の設立等。（DMO等）
- ②武蔵の里のシンボルとなる武蔵を紹介する資料館の建設。

現在のシンボル宮本武蔵像についても、設置場所について改めて協議。

また、資料館にて放映する武蔵を紹介する映像コンテンツの作製。

※吉川英治の小説「宮本武蔵」の紹介も必要。※ストーリーや登場人物など

## おわりに

武蔵の里の再整備に当たっては、このエリアを「宮本武蔵を感じさせる空間」にすることが基本的なコンセプトとなる。

観光コンテンツの再評価を行い、動線を考慮して施設の配置を検討することとし、採算性を加味した施設再整備の基本構想を専門家の知見を加えてまとめることとする。

暫定措置として、当面の間、武蔵武道館館内の空きスペースに武蔵資料館の収蔵品の一部を展示する。

# 美作市武蔵の里再整備検討委員会 開催履歴

28

実施日	会議の内容
令和2年10月21日	第1回美作市武蔵の里再整備検討委員会 【委嘱式】
令和2年12月16日	第2回美作市武蔵の里再整備検討委員会
令和3年8月23日	第3回美作市武蔵の里再整備検討委員会
令和3年9月15日	第4回美作市武蔵の里再整備検討委員会 【現地確認】
令和3年12月23日	第5回美作市武蔵の里再整備検討委員会 【視察研修（矢掛宿場町等）】
令和4年6月30日	第6回美作市武蔵の里再整備検討委員会 【視察研修（りんりんパーク等）】
令和4年7月26日	第7回美作市武蔵の里再整備検討委員会 【視察研修（丹波篠山の宿 丸山集落等）】
令和4年9月22日	第8回美作市武蔵の里再整備検討委員会 【視察研修（備前長船刀剣博物館等）】
令和4年11月21日	第9回美作市武蔵の里再整備検討委員会

## 武蔵の里再整備検討委員会 委員名簿

29

番号	役職	氏名	備考
1	会長	森岩 厚	武蔵の里大原観光協会 会長
2	副会長	平田 邦義	大原地域自治振興協議会 会長
3	委員	森岩 峰子	宮本地区（女性代表）
4	委員	月見 伊津夫	武蔵の里大原観光協会 副会長
5	委員	森岩 義幸	武蔵青少年育成会 会長
6	委員	中嶋 勝志	楽市楽座生産者組合 代表者
7	委員	鈴木 悦子	地元議員
8	委員	山本 真樹	地元議員（おかやま観光特使）
9	委員	神原 一寿	地元議員
10	委員	澤根 崇	中国銀行 大原支店 支店長

### 改選履歴

小松俊行 委員 令和2年10月21日から令和3年7月13日 後任 平田邦義 委員

阿部 宏 委員 令和2年10月21日から令和3年7月13日 後任 澤根 崇 委員

神原一寿 委員 令和3年7月14日より

鈕持隆宏 委員 令和2年10月21日から令和4年3月31日 後任 中嶋勝志 委員

